

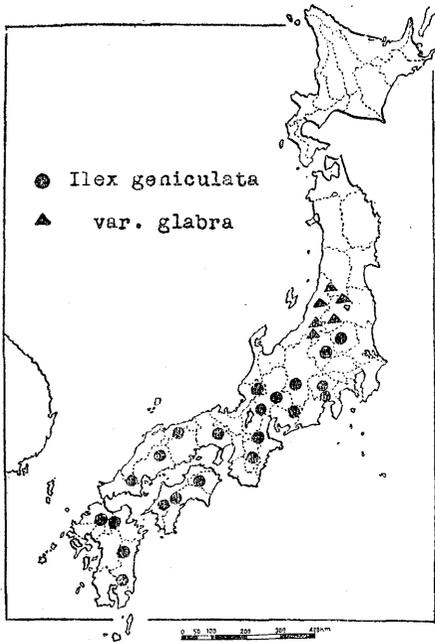
Summary

The Black-dots disease of *Gloiopeltis furcata* caused by *Guignardia Gloiopeltidis* was found in Hokkaido by K. Miyabe and J. Tokida (1948). This parasitic fungus was observed also on *Gloiopeltis tenax* collected at Yoshimi, Yamaguchi Pref. In this coast, the damage by this fungus is insignificant up to the present.

○新変種 オクノフウリンウメモドキ (新称) (奥山春季) Shunki OKUYAMA :

Ilex geniculata Maxim. var. *glabra*, var. nov.

フウリンウメモドキの分布は図の様に東北の南部から四国、九州の山岳地帯に及んでいるが、分布上の北限地帯即ち山形、新潟、福島等の裏日本に分布するものは葉裏が全



く無毛で、他の地域に産するもののように葉裏の主脈や支脈に著しい開出毛が出ない。この形は地域的にもはっきりしているので地理的な変種と考え新名を提唱する。興味あることは本変種の分布区域がササユリ *Lilium japonicum* Thunb. の変種又は別種と考えられている近似種ヒメサユリ *L. rubellum* Bak. の分布区域と殆んど一致することである。葉裏に毛が出ない形では裏日本に分布するケナシヤブデマリ *Viburnum plicatum* Thunb. var. *glabrum* Hara があるが、また反対に毛が出る例としてはケアブラチャン *Parabenzoïn praecox* Nakai var. *pubescens* Honda が関東地方の北部谷川岳を境として裏日本に分布していることは注目すべきである。また同じ *Ilex*

属のもので葉裏に毛がないイヌウメモドキ *I. serrata* Thunb. var. *argutidens* Rehd. は有毛品のウメモドキと分布的には混在する様である。因に本変種の母種フウリンウメモドキの type-locality は富士山である。

Ilex geniculata Maxim. var. *glabra* Okuyama, var. nov.

Folia subtus glabra, cetera ut in typo. Nom. jap. Okuno-furin-umemodoki (nov.).

Hab. Hondo. Prov. Echigo: Mt. Yahiko (S. Okuyama, Jul. 6, 1943—typus in TNS), Ishiuchi (N. Nishimura, Jul. 18, 1942), Mt. Kirin (T. Nakai et N. Maruyama, Mai. 26, 1950). Prov. Uzen: Ogunimoto (legit. ?, Jul. 17, 1908). Prov. Iwashi-ro: Mt. Koma (D. Hoshi, Jul. 19, 1935).